

4 みんなこんなふう努力しているんだね

(1) 景観を守る



◁ “しっぽ”の真ん中が落ちる前の鯛島たいじま



今の鯛島 ▷

【むつ市の鯛島たいじま】

むつ市には、鯛島という島があります。

この島は、横から見ると、まるで鯛が泳いでいるように見えるため、こういう名前がつけられたのです。

ところが、この鯛島も風化ふうか（風や雨などのために、岩石が空気中でしだいにくずれたりくだけたりすること）が進んで昭和54年には、ついにしっぽの真ん中が落ちてしまったのです。このままだと、次々にしっぽがくずれてしまい、しっぽのない鯛になってしまいます。

そこで県では、このしっぽを守るために、風化をふせぐ工事を行いました。

今は、元気になった鯛のすがたを見ることができます。



【弘前市の^{ぜんりんがい}禅林街】

^{じょうかまち}城下町として有名な弘前市には、禅林街という通りがあります。ここは、昔、津軽藩の^{つがるはん}殿様が寺にお参りする^{とのさま}ための道でした。

道の両側には、33カ所も^{ぜんしゅう}の禅宗の寺がならんでいて^{しろ}白^{かべ}壁をのせた^{くろいたべい}黒板塀と^{すぎなみき}杉並木がきれいに残っています。

けれども、杉並木の前に電柱が建ちならんでいた^{ので}、せっかくの良い景観もこわされていました。

そこで市では、電力会社と協力をして、今までの電柱を取り外し、杉並木の後ろに目立たない色の電柱を^{がいろとう}建てたのです。さらに歩道には、周りの景観に合った和風の街路灯をつくり、また側溝にも^{そっこう}ふたをつけました。

今は、この禅林街を通ると、まるで江戸時代に来たような気分になります。

(2) 景観をつくる



はしかみちよう まつだて かせん 【階上町の松館川河川公園】

さんのへぐんはしかみちよう かなやまざわ
三戸郡階上町の金山沢には、松館川という川が流れて
います。

この付近は、自然に囲まれた緑ゆたかなところでは
す。

町の人たちは、ここにみんなで楽しめる河川公園をつ
くことにしました。地元の人たちからは「周りの自然をこ
わさないでほしい。土地の形をあまり変えないでほしい。」
という意見が出ました。

そこで町では、土地の形をできるだけ変えないで池、水
車小屋、キャンプ場などをつくり、また木を植えたりして、
みんなが楽しめる緑ゆたかな公園を計画しました。

今では、すっかりみんなに親しまれていて、特に夏には、
大人や子どもたちがたくさん遊びに来ます。

(3) 景観を育てる



【ひらかわ平川市(旧おのえ尾上町)のい生け垣がき】

平川市の旧尾上町地区には、古くから造園ぞうえんの仕事をする人がたくさんいました。その人たちは、自分の家の前に塀へいの代わりに生け垣をつくっていました。そのため、尾上町は「生け垣のあるまち」として有名になりました。

そこで町では、平成4年に生け垣を守り育てるルールをつくり、みんなで生け垣を大切にしていこうことにしました。

生け垣は、少しずつ大きくなります。何もしないと、えだや葉がのびてしまうので、その手入れも大変なのです。

それでも、みんなは美しい景観を育てるために努力しています。そのかいあって、だんだん旧尾上町地区には、みごとな生け垣が連なるようになってきています。